

27 袋井宿

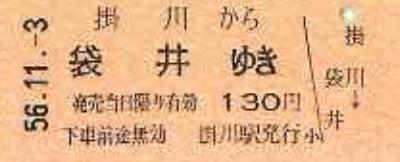
東海道のちょうど真中の宿



本陣 3軒

3軒あった本陣の一番大きい田代家で
今は空地になっている。袋井市袋井。

脇本陣 0軒



江戸からも、京からも数えて27番目の宿。主に休憩が
中心で東海道の宿駅の中では最も短かい宿。



川井橋を渡った先の河原町までが袋井宿



袋井市中央町のバス停。3軒あった本
陣の内の西の本陣太田家で、酒屋をや
られている。



東の入口 天(あま)橋を渡る。左奥
へ行く道が旧道。

宿内人口

843人

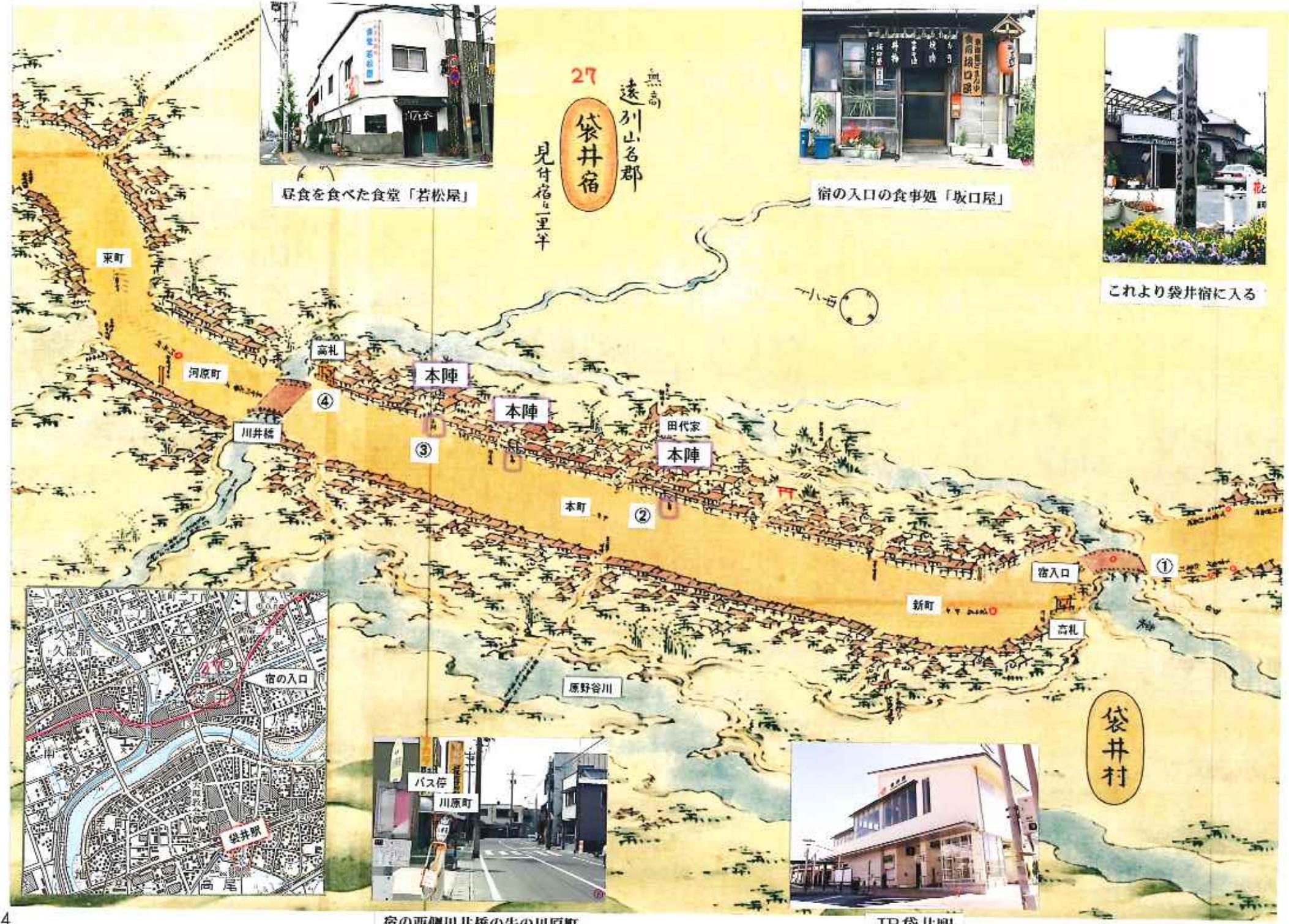
総家数

195軒

旅籠

50
軒

大 5
中 12
小 33
軒





②



①



太田川の三ヶ野橋を渡る。



⑤

三ヶ野坂を越える。下った所に立場の休憩所があった。



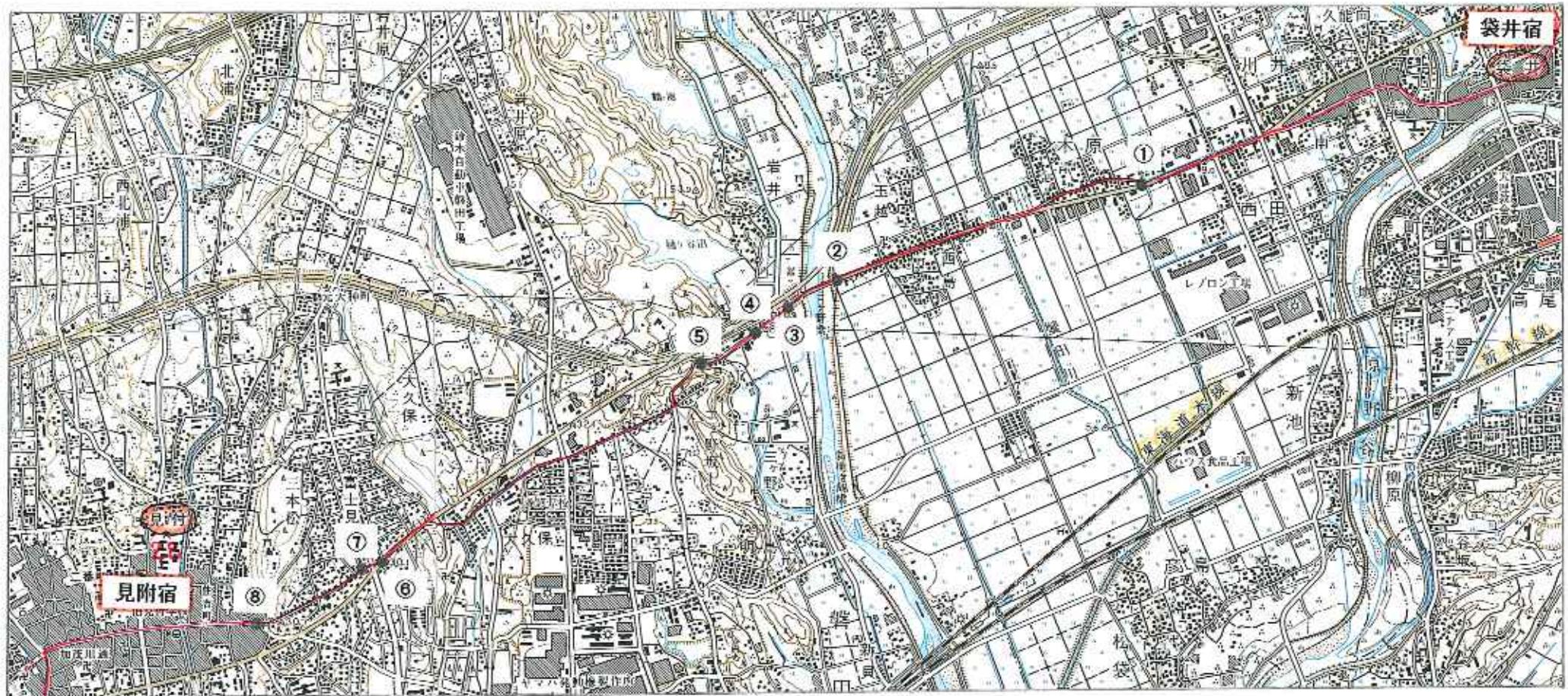
④

旧道の松並木が続く。



③

三ヶ野橋を渡ると、直線の山に向かう道が続く。



116

見附宿の入口の東坂。一里塚があった。



昔の刑場の跡 白浪五人男の日本左衛門が処刑された所といわれ、今でも空地になっている。磐田市富士見町。

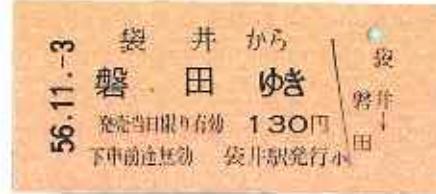


国道1号線から右に入るのが旧道。

28 ◇見附宿◇

遠江国を中心地で国府や国分寺が置かれた。

昭和23年磐田市となつた。姫街道の分岐点。



昔の宿の名は見附宿だが、駅の名は
磐田駅。



本陣 2軒

脇本陣 1軒

本陣の名は神谷家という。もう1つの本陣鈴木家はこの手前側にあった。両方共何も残っていない。磐田市見附馬場。



姫街道の入口 宿の西側の角から浜名湖の北側を通り引佐峠を越えて、御油宿へ出る。女性の通行が多かったのでこの名が付いた。「本坂越」ともいう。15里14町（約63km）の街道。



見附宿のメインストリート。突き当たりが姫街道の入口となる。



東の入口の木戸跡 宿の入口は下り坂になっていて、ここから宿に入る。

宿内人口

3935人

総家数

1029軒

旅籠

56
軒

大 10
中 24
小 22
軒



西坂町のバス停



静岡県まちなみ50選

ここは平成3年版の

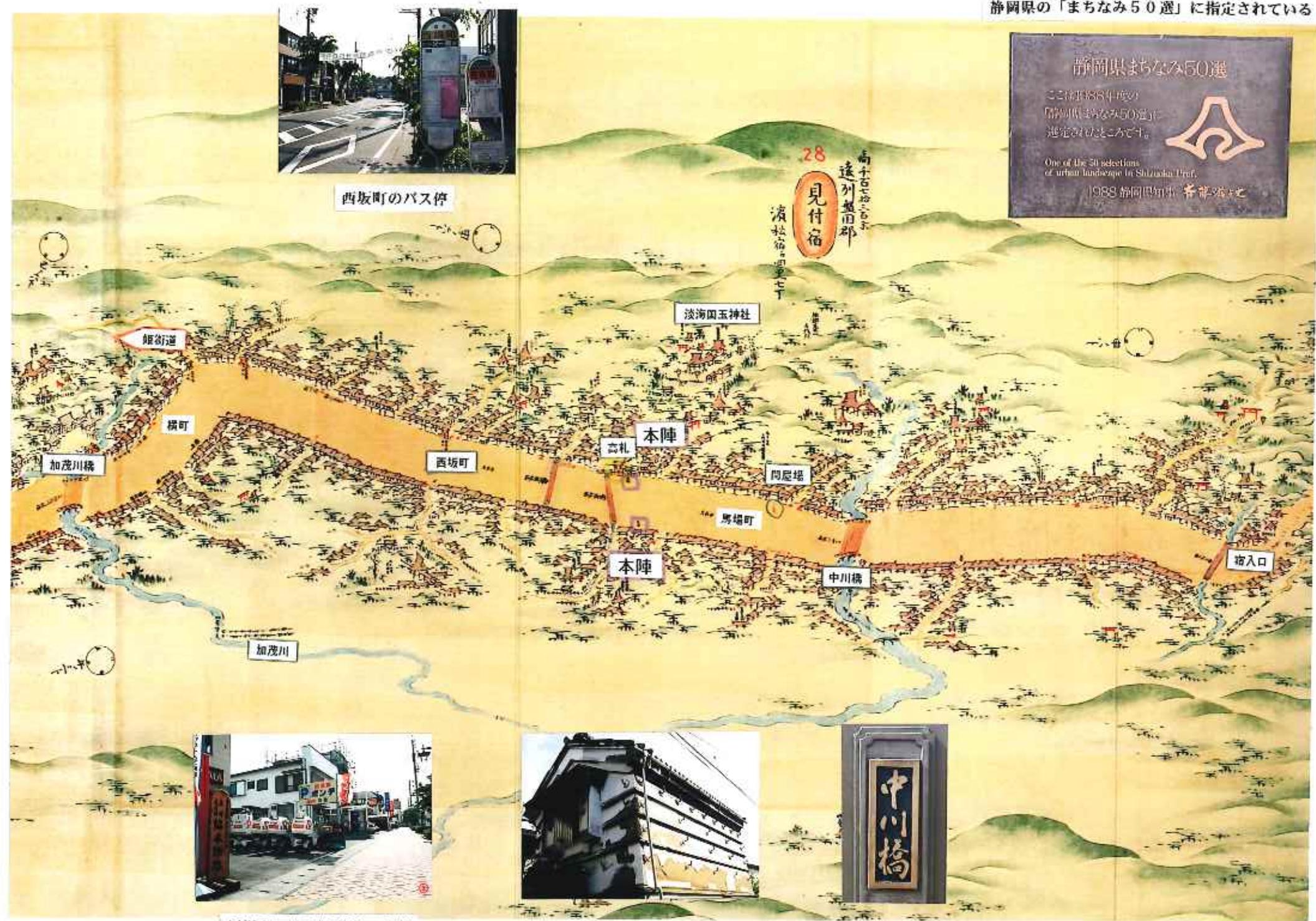
「静岡県まちなみ50選」に

選定されたところです。

One of the 50 selections

of urban landscape in Shizuoka Pref.

1988 静岡県知事 各都道府県



馬場町の脇本陣があった所

遠江国の国府

四等級の大國・中国・上国・下国内の上国に属する。

姫街道

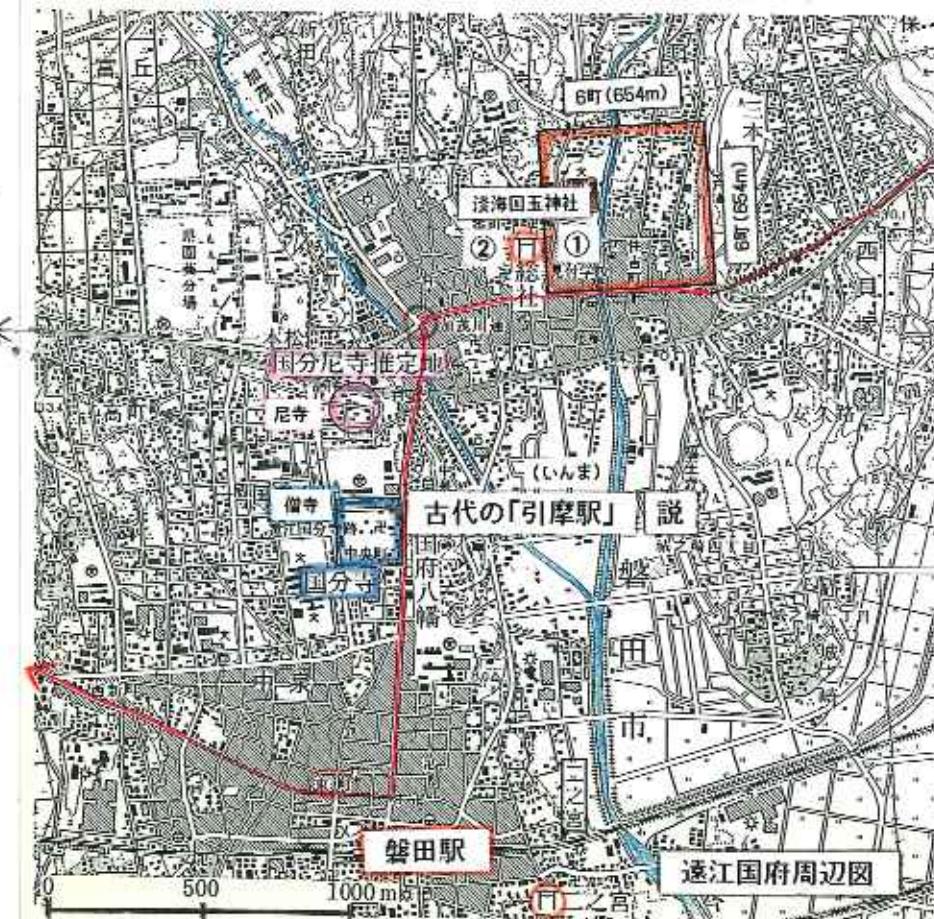


中世鎌倉時代
のルート
賴朝の上洛の道
次は三河田宿
安倍街道



遠江国府と今の浦の入江

鎌倉時代は今浦の入江が国府の外港として使われていた。



◎ 今市の名残りの辺

總社の淡海国玉神社 貞觀7年（865）
以前の古社。明暦2年（1656）の再建。

遠江国分寺

静岡県磐田市

磐田駅へ



天平13年（741）聖武天皇の命で全国に建立される。
弘仁10年（819）焼失。明治20年発掘調査が行われた。北側は磐田南高校。



国分寺と国府八幡宮の絵図。八幡宮は天平年間（729～749）の創建という古社。



東海道の曲がり角で、手前が磐田駅。ここで直角に西に
がり浜松宿へと向かう。角に標識が建つている。



加茂川橋から下流を見る。

天竜川



全長250kmで、諏訪湖を水源とする。



宮之一色村の一里塚 江戸から63番目（252km）の一里塚。直径11mあり桟が植えてあった。昭和46年に復元された。
磐田郡豊田村宮之一色



西之島のバス停



見付宿を出た少し先の街道。



森野橋を渡る。今の森下町。



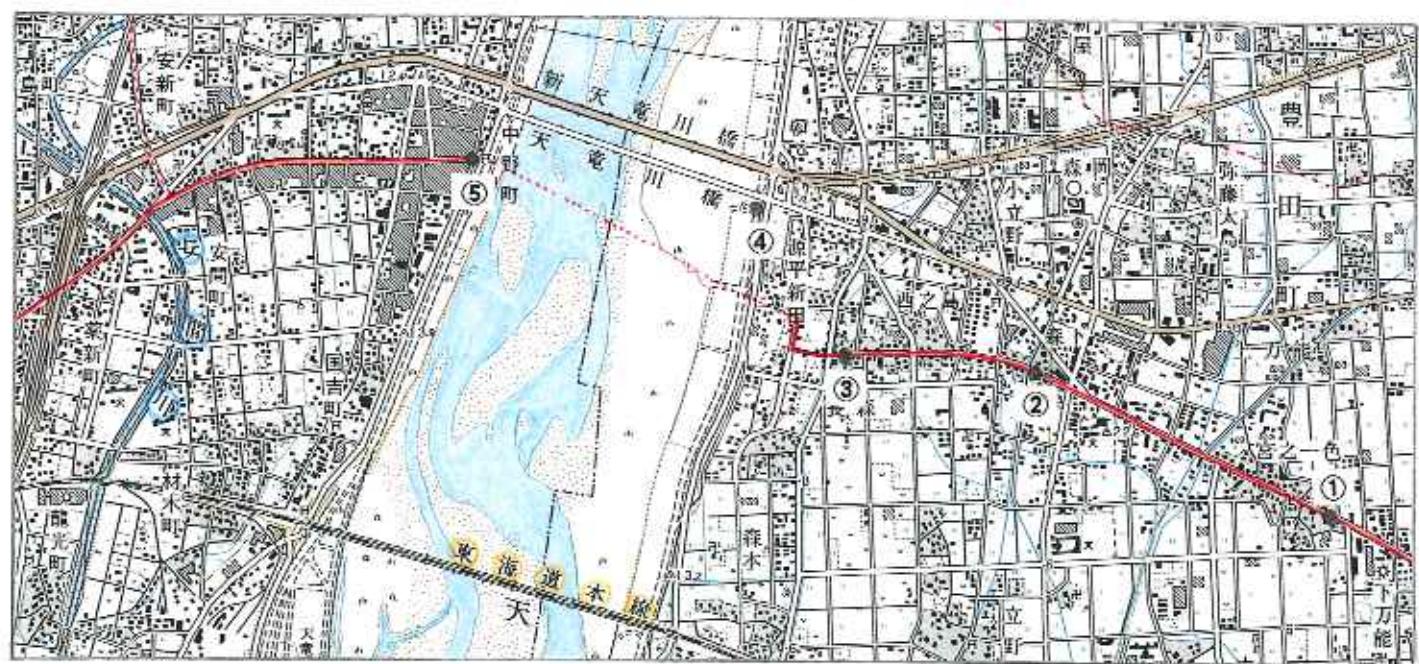
橋を渡った所。浜松市中野町。



天竜川鉄橋 昭和8年に架けられた鉄橋。向こう側に1号線の鉄橋が見える。



馬込橋 馬込川に架かる橋でここを渡ると浜松宿に入る。



天竜川は明治の初めの頃までは渡し船だった。明治9年木橋が初めて架けられた。全長1163mで幅は3.6mだったとある。

29 ◆浜松宿◆

古代の官道「栗原駅」のあった所。家康が築いた浜松城の城下町。



ここは田町。この先東海道は昔の神明町を左へ曲がる。



左に曲がると連尺町に入る。



J R 浜松駅



板屋町の東海道。ここを左に曲がると浜松駅に出る。

宿内人口

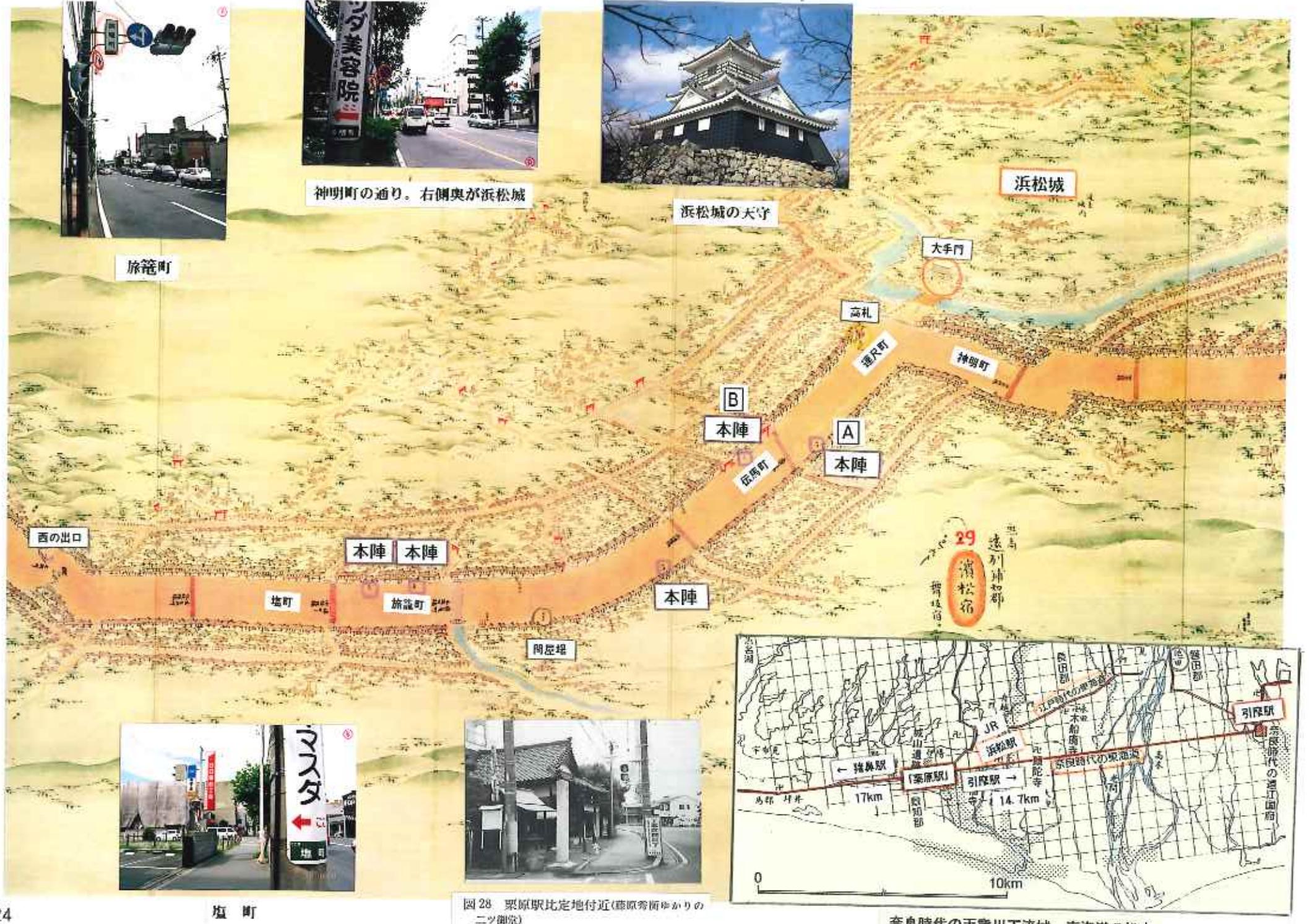
5964人

総家数

1622軒

旅籠
94
軒

大
中
小
19
22
53
軒
軒
軒



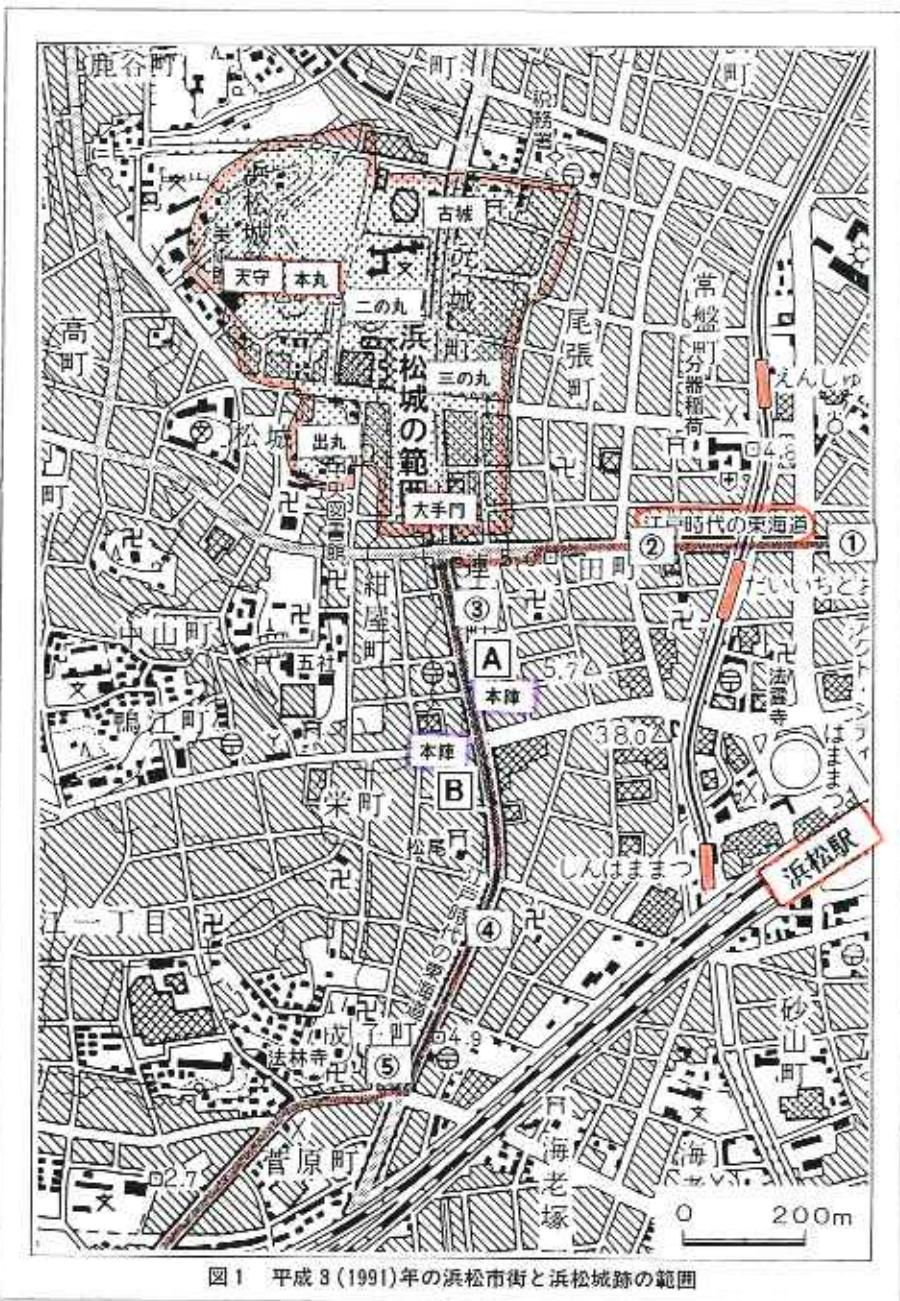


図1 平成3(1991)年の浜松市街と浜松城跡の範囲



浜松城 元は今川氏の城で引馬城といった。元亀元年（1570）家康が新城を築き17年程住んだ。明治維新で廢城となつたが、昭和33年今の城が再建された。



西の木戸近くにある浜納豆の店。浜松市成子町。



伝馬町を過ぎる



本陣の佐藤家のあった所。道路の拡張で大部分が削られてしまったとある。今の連尺町54番地。



本陣の杉浦家のあった所。浜松信用金庫がその跡地。浜松市伝馬町。道路の左向こう側に川口本陣があった。

A



本陣跡の標識

本陣 6軒

脇本陣 0軒

B



本陣の前に建つ標識



①

坪井西のバス停わきの旧道。



②

馬郡中のバス停。少し先を右に入ると舞阪駅に出る。今の馬郡町。



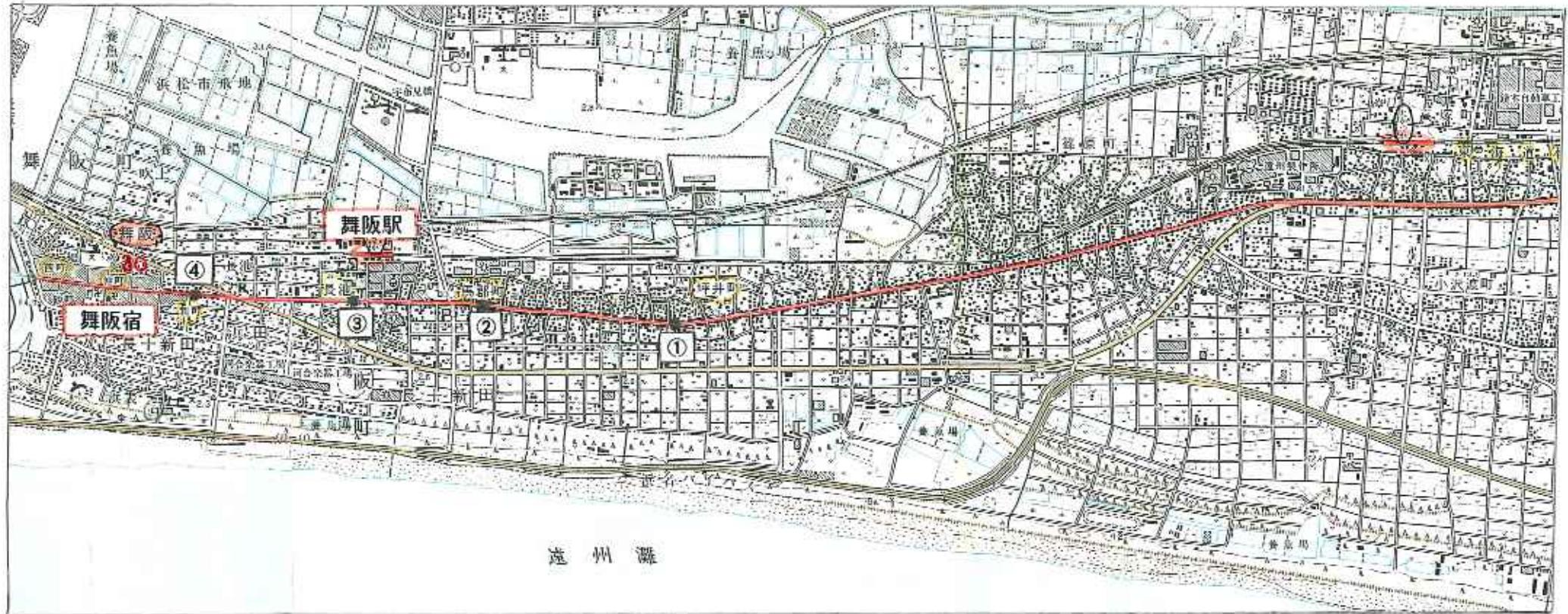
二つ御堂と高札場の跡 一里塚
の少し先で、反対側にもお堂が
あった名。昔藤原秀衡の側室が
上京する時ここに建てたという。
今の東若林町。



浜松宿の西のはずれ、昔の西の木戸を
出た所。今の香原町。



江戸から 66 里目 (264 km)
の一里塚で櫻が植えられていた。
東若林町。



舞阪宿の東の入口の石垣 見付石垣といい、番人が立って人や馬の監視をして治安の維持にあたった。



長池の松並木 「700mに約300程の松並木が続いている」とある。



松並木の標識。
浜松から10km
舞阪へ0.9km

30 《舞坂宿》

浜名湖の今切の渡し場があった宿。

対岸の関所のある新居宿まで渡った。約一里。

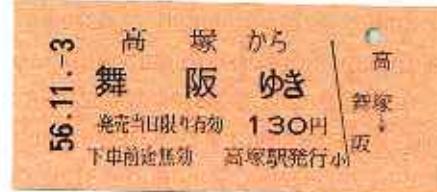


本陣 2軒
脇本陣 1軒

2軒あった本陣の東側の宮崎
家。この左隣りが源島家。

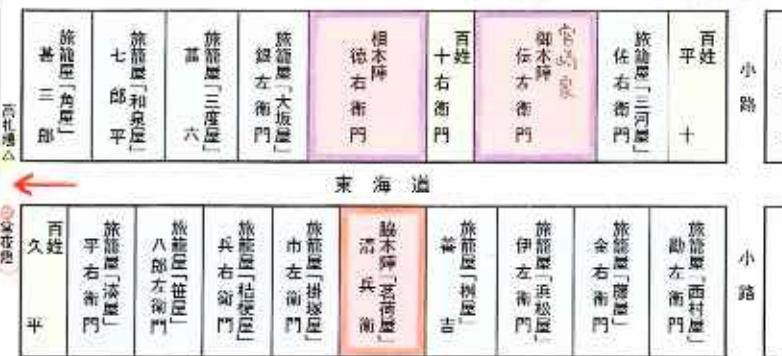


脇本陣の堀江家。平成9年東
海道では唯一の脇本陣として
復元された。翌年に撮った。



J R 舞坂駅

文久2年(1862)の宿割図



脇本陣の内部。



宿の入口近くの家並み。

宿内人口

2475人

総家数

541軒

旅籠

28軒

大 0軒
中 15軒
小 13軒



北雁木（町指定文化財）（西町）

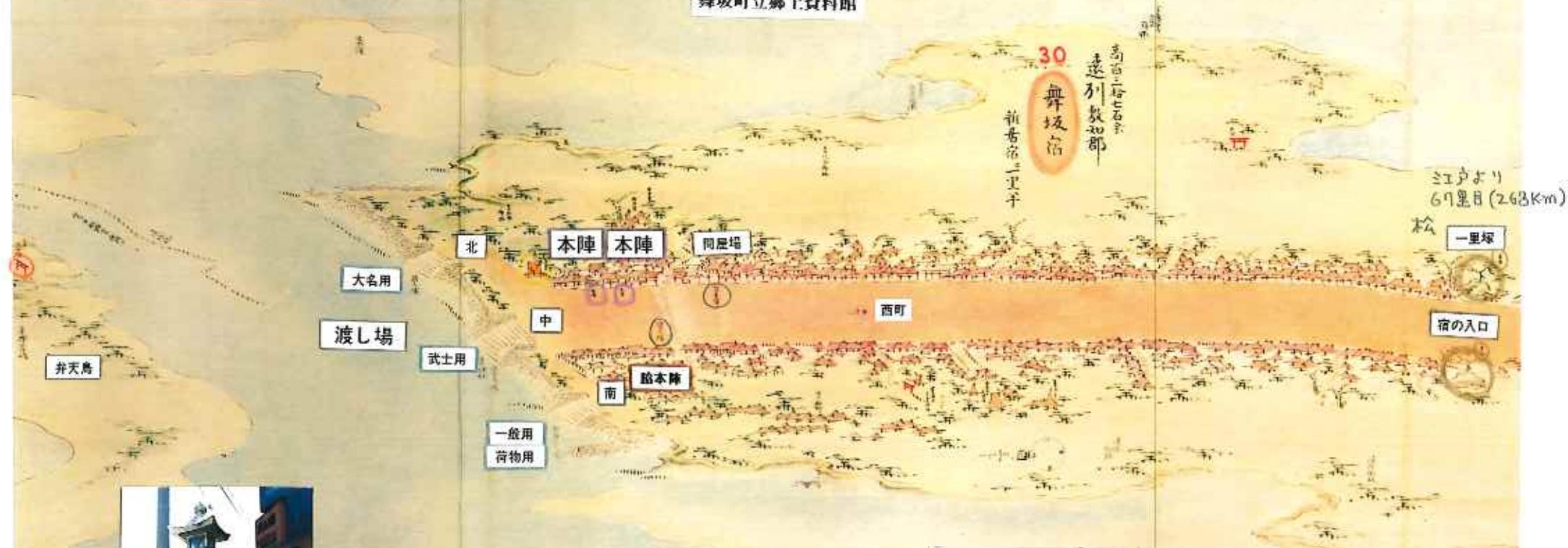
大名用の渡し場



舞坂町立郷土資料館



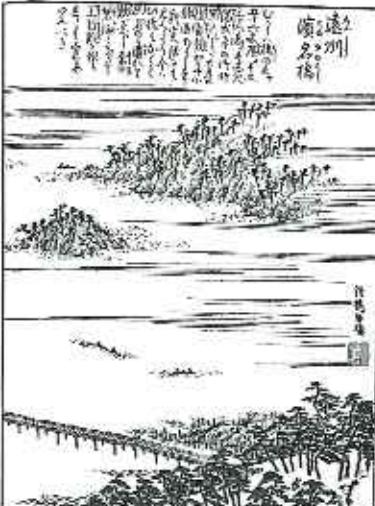
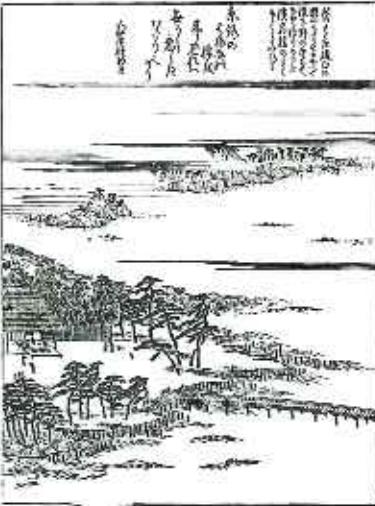
舞坂宿復元模型



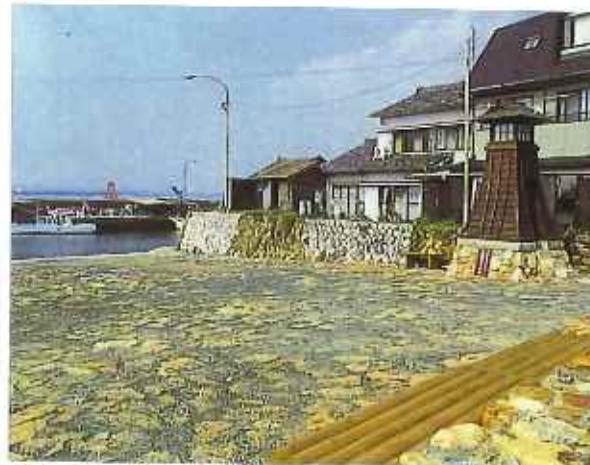
脇本陣の正面入り口

間口が9m、奥行が27mある。

間口: 9m 縦墨数: 98疊半
奥行: 15m 縦坪数: 75坪
棟数: 12坪5分



東海道名所図会に描かれている古代の「浜名橋」で浜名川に架かっていた。幅約4m・長さ約170mもあり名勝地だった。
戦国時代初期の明応7年（1498）の東海大地震で浜名湖が今の様に海とつながる前にあった橋。



復元された北側の渡し場
北が大名用
中が武士用
南が一般用・荷物用



舞坂宿の北側の渡し場跡。大名川として使われていた。

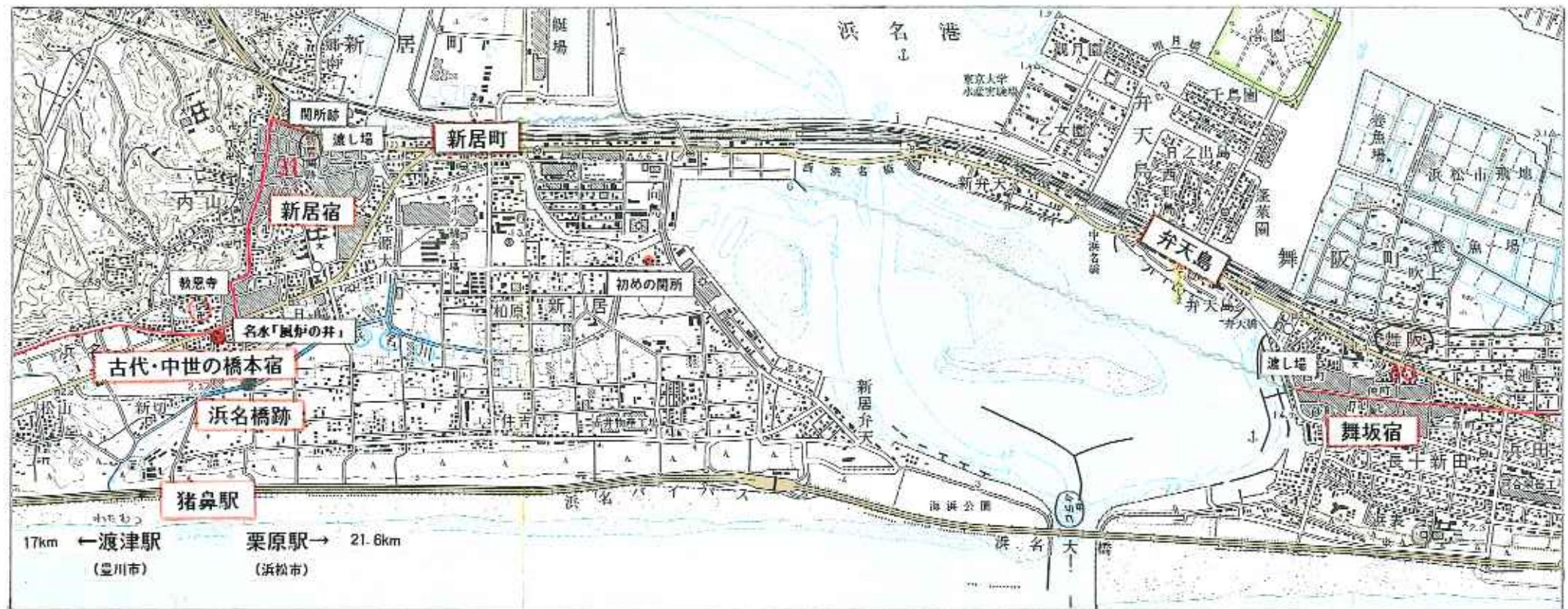


浜名湖の渡し場

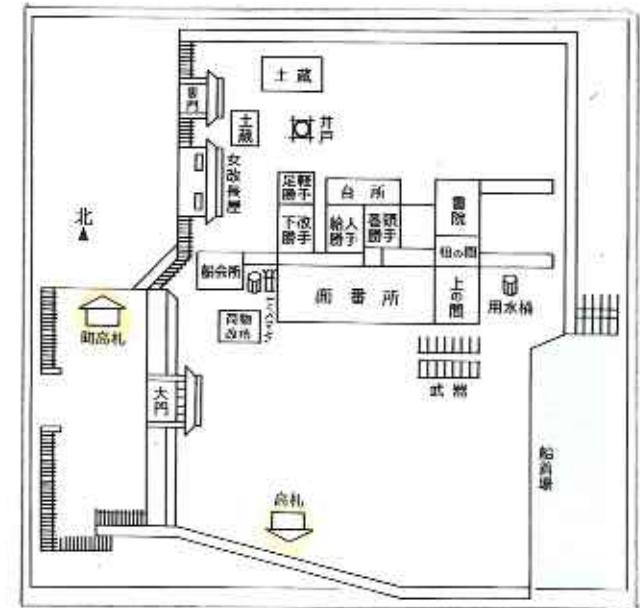
源頼朝が建久元年（1190）10月18日上洛の時ここで宿泊したのが左側の橋本宿。鎌倉を出発し青のルートを通ってきた。



当時の石垣が復元されている。明暦3年（1657）～寛文元年（1661）の頃、長さ534間（960m）の石垣が築かれた。



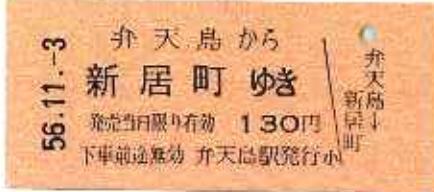
宝永7年（1708）現在の位置に移された。



関所の平面図

31 『新居宿』

浜名湖を渡ると 箱根と並ぶ今切関所があった



弁天島から
新居町ゆき

発券当日前り有効 130円
下車前後無効 弁天島駅発行



J R 新居町駅 平成30年10月8日撮影



今は正田医院を開いている。

3軒あった本陣の内2軒は
正田家で、あと1軒の本陣
は飯田家が勤めていた。

本陣 3軒

脇本陣 0軒



宿の路地の家並み。A 地点。



突き当たりが飯田本陣。東海道はここ
を左に曲がる。右側にある病院は本陣
の正田家がされている。



新居の関所跡 慶長5年（1600）
設置され、明治2年（1869）まで
270年程あった。今の建物は昭和4
6年に改修されたもの。

宿内人口	3474人
総家数	797軒
旅籠	26 軒
軒	4 7 15
大中小	軒 軒 軒

本陣と同じ名前



頼朝の上洛時の宿泊地

行き 達久元年(1190)10月18日
帰り 達久元年(1190)12月20日

ここは、頼朝の上洛の際の宿泊地で“遊女らがたくさん来たので贈り物をたくさんあげた。”と本文にある。



「風炉の井」の碑

○十八日己亥、於橋本驛遊女寺祥參。有繁多贈物云々。先之有御連歌。
●はしもとの君よへなにあわすへき

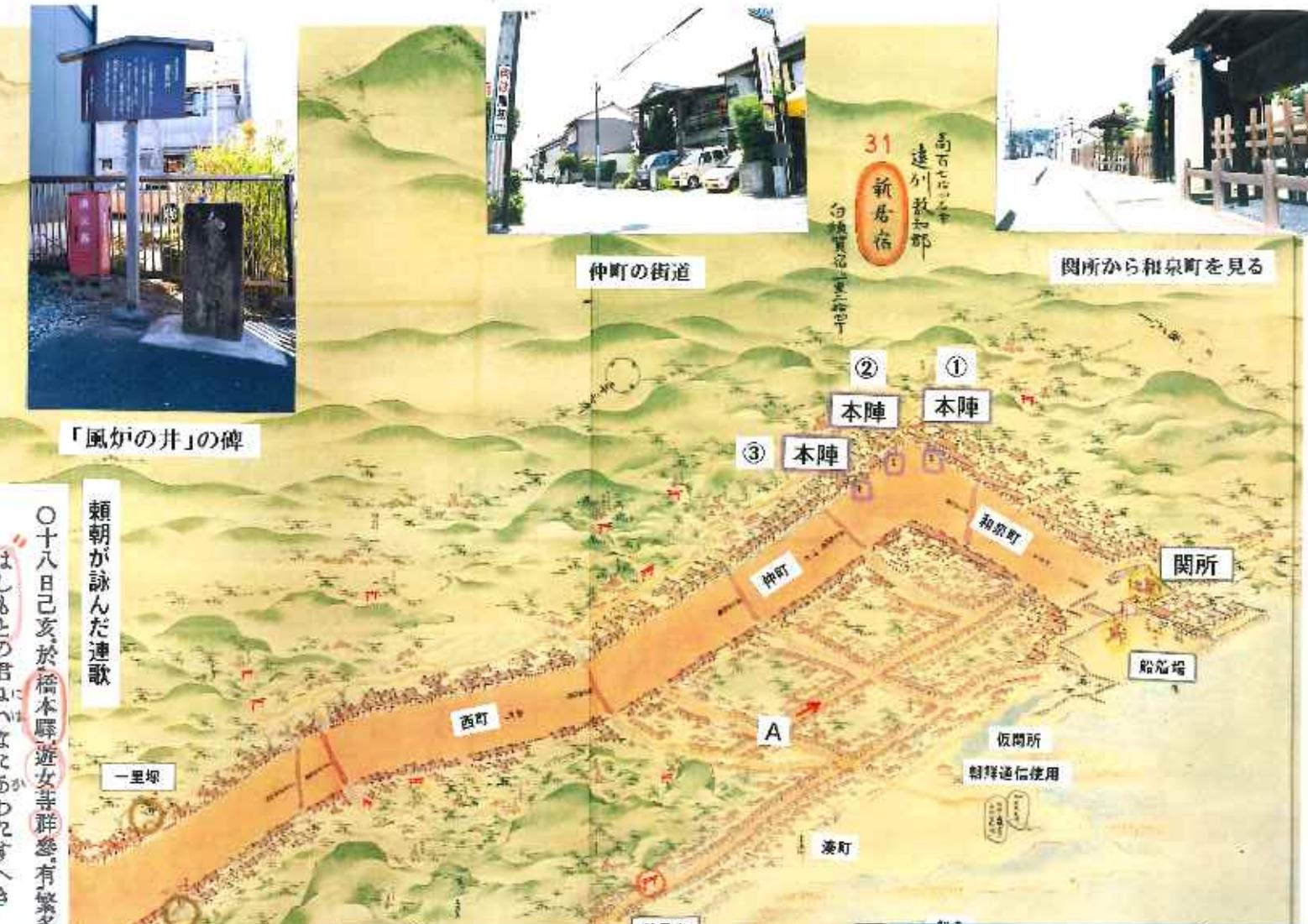
『吾妻鏡』の文



仲町の街道

31 新居宿
高古セハツコモ
遠カ教和郡

関所から和泉町を見る



左上に入るのが旧道



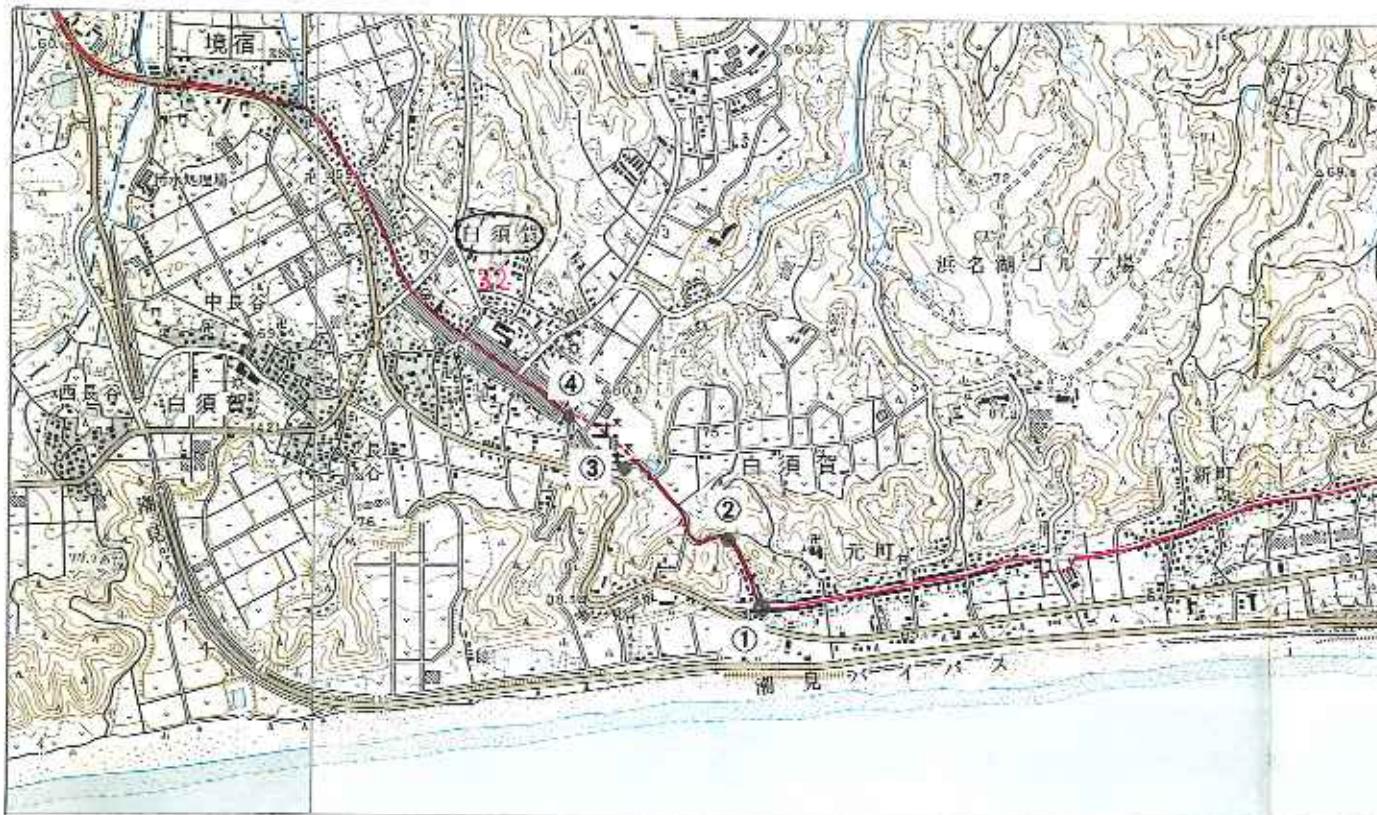
現在の橋本宿 平成30年10月8日撮影



街道を右に曲がり潮見坂を上る。
ここで海から離れる。



新居宿の出口 カギ形に曲がっている。



新居の一里塚 江戸から 69
里目 (276 km) の一里塚
で左右にあった。



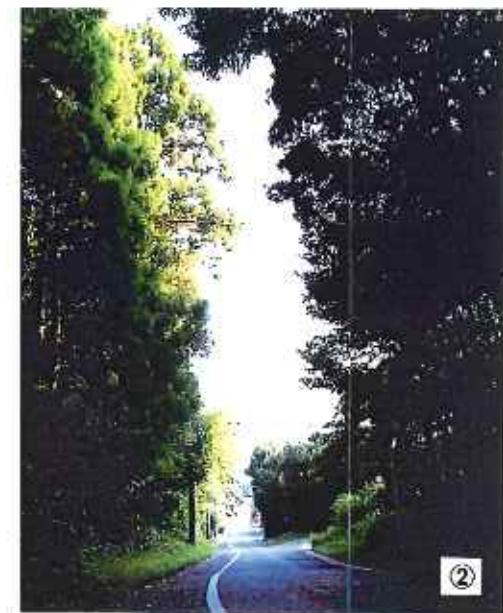
東海道の景勝地 坂をのぼりきると、広重の描いた様な
絵の景色がのぞめる。



広重の東海道五十三次の「白須賀」



白須賀宿の入口



潮見坂を上りふり返って見る。
古代・中世もこの坂を通った。

32 《白須賀宿》

道幅も狭く昔のままを残している。



本陣 1軒

本陣大村家。今は美容院をされている。

脇本陣 1軒



宿の入口に近い所の家並み。東町。



本陣前の標識。



宿の中心部の家並み。



宿の中程が防衛の為S字に曲がっている。中町。



バスの本数は1日に
6~7本だけ。

宿内人口

2704人

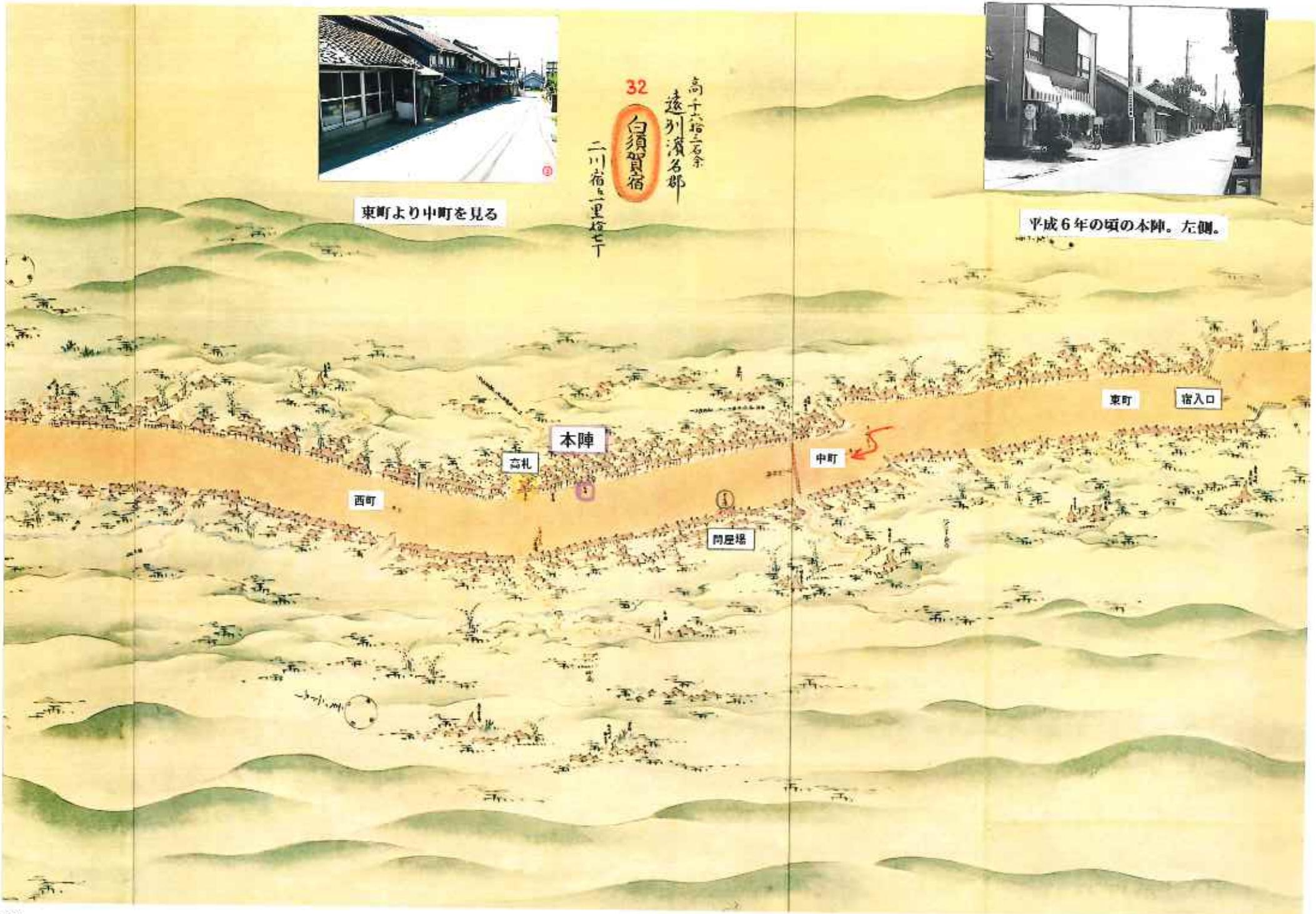
総家数

613軒

旅籠

27
軒

大 15軒
中 2軒
小 10軒





国道1号線の日本橋から
285 kmの地点。



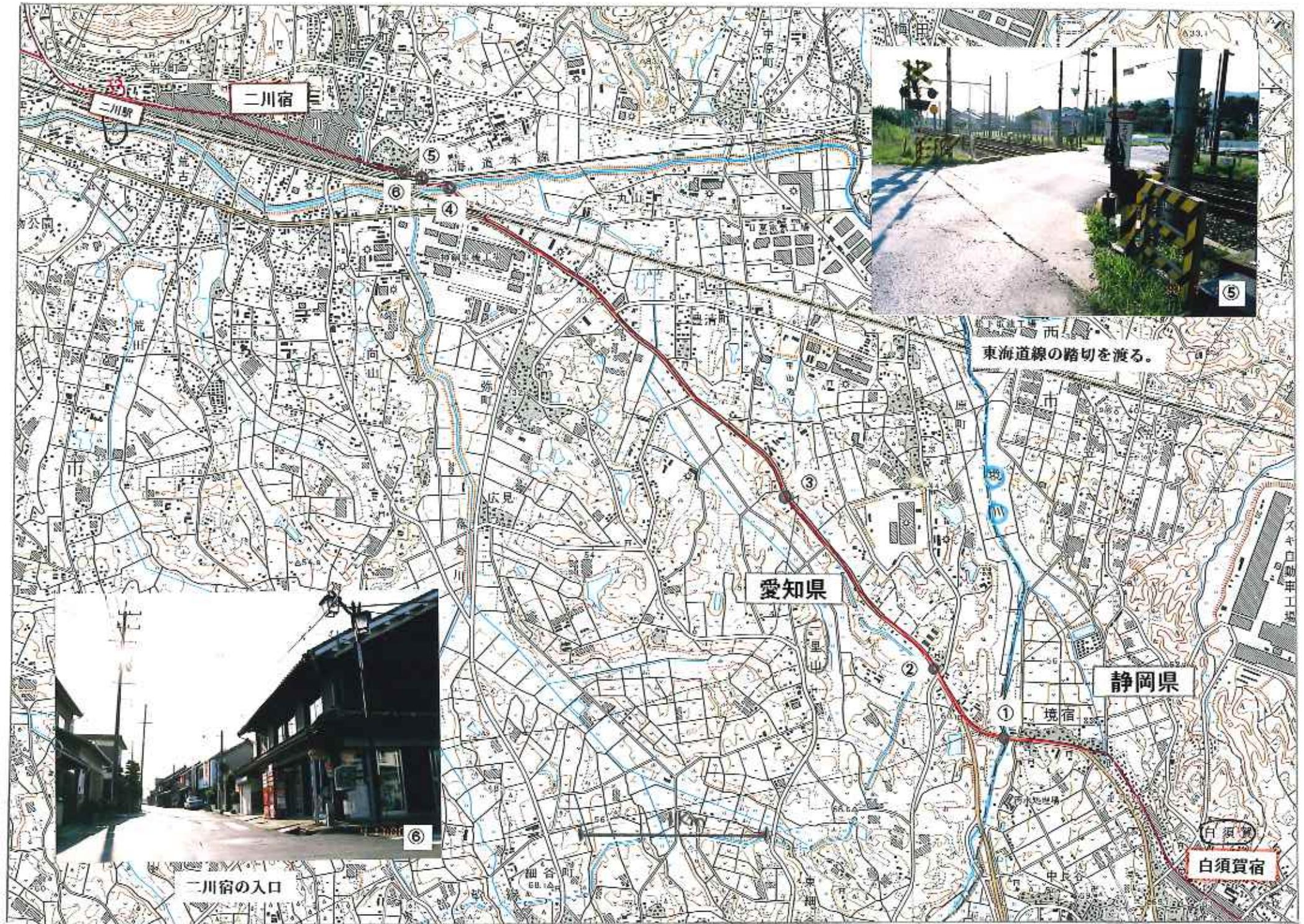
筋違橋を渡る。



国境の川境川 川は小さいが
この橋が静岡県と愛知県の県境。



一里塚のあった所で、バス停
にその名が残っている。



33 ◆二川宿◆

愛知県に入つて最初の宿。立派な本陣が復元されている。



本陣 1軒
脇本陣 1軒



J R二川駅



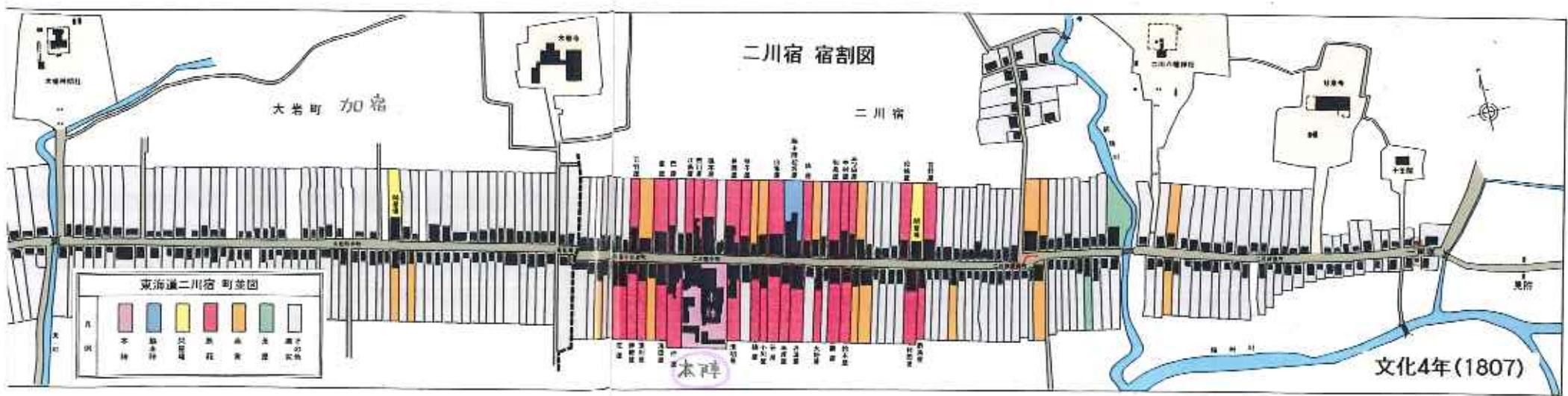
宿の中程の本陣
馬場家。平成3
年新規に建替え
られた。
文化4年（18
07）から本陣
を引継いだ。



宿の中町にある鍵の手に曲がる道。



宿内人口	1468人
総家数	328軒
旅籠	38軒
大軒	7
中軒	10
小軒	21





杉並木が少し残る飯村の街道。



飯村のバス停。



二川宿を出るとすぐ山沿いに街道の道が2つに分かれる。右が正式な東海道で、左はその裏道で岩屋観音の参拝道。



中山橋を渡る。



江戸より73里目 (29.2 km)
の飯村の一里塚。



ゆるやかな火打坂を上る。



豊橋市瓦町。



豊橋宿の東総門の入口で、左へ曲がるとすぐU形に右に曲がってから門を通って宿に入る。

